

# 名古屋大須ロータリークラブ

## WEEKLY REPORT No. 1245

<本年度会長方針>

### リノベーション renovation

承認 1985年2月12日 例会日 木曜日 12:30 例会場 名古屋東急ホテル  
会長 木村 光徳 事務局 名古屋市中区栄4丁目6番5号 丸越ビル6F  
幹事 渡辺 観永 電話 (052)251-0181 FAX (052)251-0337 〒460-0008  
URL <http://www.nagoya-osu.org> E-mail [office@nagoya-osu.org](mailto:office@nagoya-osu.org)

ロータリーを  
実践し



みんなに  
豊かな人生を

### 第1458回例会

識字率向上月間

平成26年3月13日(木)

会員卓話

於名古屋東急ホテル

出席計算数 会員 61名

出席率 56名中50名出席

前及前回出席率 89・29%  
92・86%

### 例会プログラム

★委嘱状伝達式

★会員卓話

### ロータリーソング

「奉仕の理想」

指揮者 林 富徳

ピアノ伴奏 富板 玲子

### ゲスト

岩崎 征一さんゲスト

有限会社ヤマケン代表取締役

中原 康雄さん

### ニコボックス

飯田先生又し振りの卓話楽しみにしています。

飯田先生楽しみにしております。

誕生月でした。近藤宏一郎  
妻の誕生月です。内藤 明  
結婚記念月です。松本 哲朗

### 会長挨拶

会長 木村 光徳

今日は先週時間切れで話しが出来なかつたオーストリアについての続きのお話しをさせて頂きます。

ヨーロッパには殆んどの国に創業何百年といわれているカフェが数多くあります。特にウィーンには至る所に見付ける事が出来、カフェの街とも呼ばれています。また「コーヒー」のメニューも何十とあり、予備知識が無いと何を注文して良いのかさっぱり分かりません。

これは長いカフェの歴史の中で色々な店が新しい物を考え、評判の良い物が残り、一般化していった結果ではないかと思えます。ビールについても全く同じ事です。

カフェやビールの歴史の浅い日本を含めたアジアの国々やアメリカでは、あまり見られない現象です。そして、コーヒーにはお菓子がつきもので、ウィーンのケーキで世界的に有名なものは、ザッハートルテというチョコチョコレートケーキです。私も本家のホテルザッハーで試して

みましたが、甘いだけで日本のケーキの方が数段おいしいのではと一つの率直な感想です。

次に、私の行った事のあるヨーロッパの街の中でも是非もう一度行きたい街、ザルツブルグです。

モーツアルトの生誕地という事もあり、数多くのコンサートホールがあり、特に夏のザルツブルグ音楽祭は大変人気があり、街も世界中の人で溢れます。その地形・立地は郡上八幡に似て、雰囲気は軽井沢をもう少し華やかで、ハイセンスにした感じというのが正確な表現だと思えます。特に旧市街は十分に手入れされた中世の建物が建ち並び、ショップ、カフェ、レストラン、教会等々、一日中街歩きをしても、決して飽きる事はありません。

「ものづくり技術」から「企業利益を得る」には「県内中小企業の目標のべき」

技術分野とその保護」

会員 飯田 昭夫さん

「ものづくり技術」から「企業利益を得る」には「県内中小企業の目標のべき」

技術分野とその保護」



委嘱状伝達式  
米山奨学生カウンセラー  
草野 勝彦さん

岡部快園パストガバナーより、次年度米山奨学生(チフトゥ ウムハン/トルコ) カウンセラーの草野勝彦さんへ、委任状が手渡されました。

### 派遣青少年交換学生 報告

「マンズリーレポート」  
青少年交換学生 渡辺 瑞加

フランスに来て6か月、早くも留学生活の半分が終わってしまいました。始めは大変だと感じていたことも楽しめるようになって今は時間がたつのが惜しいです。

先月の半ばにホストチエンジをして、「ニヤックの中心街に移りました。学校から近いといういろいろ便利なことも多く、朝早起きしなくても間に合つし、学校が終わった後も友達と残れるので今の家を気に入っています。ホストファミリー夫婦の子供はもう成人して家に入らないので私は一人っ子で、二人ともとても親切でうまくいっています。

(次号以降に掲載いたします。)



いい時間を過ごせました。私たちがしたところはコニャック郊外にあるフランス空軍の基地で、パイロットの軍服を来た人たちと一緒に子供の世話をするという新鮮な体験もできました！

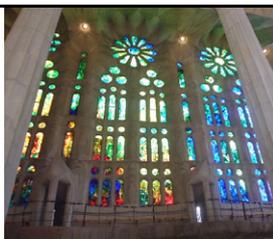


彼らはロータリアンなのでロータリーのちょっとした活動に参加できるようになって、この前は午後授業がなかったとき、障がい児と絵をかいて大きな紙に貼って一つの作品を作るというプロジェクトの手伝いをしてきました。子供たちはいい子で、

先月末から2週間のバカンスで1週間目はロータリーのバストリップでパリ・バルセロナに行ってきました。フランスに半年滞在していたながらこれが初めてのパリでしたが、街並みは想像通りのもので、シャンゼリゼでの自由時間は夢の中にいるみたいでした！ただスペインのほつが物価が安いためぐっと欲をこらえて買いたい物は必ず写真をとって撮りました。そしてエッフェル塔へ写真でみえる一番下の階までは階段で上りましたがなかなかきつい道のりだったうえ朝までの雨でぬれていていつ転ぶかとひやひやでちよっとした苦行でした。でもそのあとは、てっぺんまではエレベーターで昇れたので（もちろん有料ですが）太陽も出て最高でした。（ちなみに写真の中では日本の国旗がすっかり隠れています。中央で右側を私が、左側を他の日本人が一応持っています。）

パリの市街ツアーはすべてバスの中からだったのであまりいい写真は撮れなかったのですが、まだ行く機会があるのでその時までとっておきます。

バルセロナはやはり気候が地中海のもので夏みたいで、海も山もきれいな街でした。街の中でサグラダファミリアが見えたときはあー……テレビで見たやつと感



ロナの街を駆けながらたくさん買い物をして、とても充実していました！

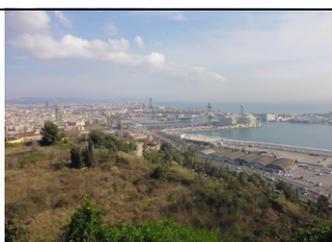
そしてバストリップの醍醐味はたくさん国の留学生と出会うことです。他の地区の50人近くの留学生と話をしたりダンスしたり、その国の言葉を学んだり、たった1週間でしたがとても親しくなりつつも濃い1週間になりました。

そして2週間目はホストの娘さん家族の家に遊びに来ています。こちらはまたまたコニャックから

動し、その中に入った後もあちこちに感じる細部に感動しっぱなしでした。どこもかしこもキリスト教の話に沿った造形物しかなくて、それを見るだけで物語かわかる仕組みでした。そして建築様式が独特で街の中で見かけるカラフルな建物は興味深かったです。自由時間にはバルセ

遠くフランスの北東部、ドイツよりの街Thionvilleにいます。一昨日ルクセンブルグに行ってきたのですが、車で20分ほどで、国境を超える時もなんの検査もなく入られて、これがヨーロッパなんだ！と感じました。谷が多い地形で、そのうえ街の中心街を守るために城壁のようなものが張り巡らされていて、行きたいところがあっても道を見つけないのが大変でひたすら階段を上ったり下ったりしていた印象があります(笑) (左上の写真は皇居のような建物です)でも周りには自然がいっぱいあってとても素敵な街でした。

この夫婦は二人ともルクセンブルグで働いていて、その理由は給料がフランス国内よりもいいからで、ほかにドイツやベルギーから同じ理由で働きに来ている人は多いそうです。他にも、物価は高いけど税金が低いのでガソリンは回りで買う、など、ヨーロッパだからこそ



できる事をフル活用して生活しています。Thionvilleの近くにある町METZにも連れて行ってもらいましたが、ドイツに近いので建築がドイツ風で、地域全体が隣の国の影響を受けている不思議な雰囲気でした。



そして3人の子供もおもしろくて、毎日一緒に勉強したり遊んだり楽しい冬休みを送っています。

**3月27日(木)例会の案内**  
**定款規定により休会**  
**4月3日(木)例会の案内**  
**SPEAK OUT DAY**

広報委員会

小澤 幸男・青木 靖高  
 飯田 昭夫・杉浦 令淑

\*本文は、原則 頂いた原稿を転載しています。